

INTERIM BUSINESS REPORT

第92期 中間報告書

2021.1.1 ▶ 2021.6.30

市光工業株式会社





当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染抑制のための活動制限から個人消費は低調となったものの、欧米や中国向けの輸出の改善などから、持ち直し傾向となりました。世界経済においては、米国は雇用回復が持続、消費者マインドの回復が見られたほか、中国では人出の回復ともなう個人消費の拡大や輸出の増加から景気回復が持続しました。一方で、アセアンでは、タイは旧正月期間中の活動自粛などを実施したものの感染拡大に歯止めがかかっておらず、インドネシアは5月には帰省禁止を含む1ヶ月の移動制限が実施されたものの大きな抑止効果は得られていない状況にあり、マレーシアも5月上旬に全国規模の活動制限令、6月にロックダウンが実施されるなど、個人消費や生産活動に制約が生じ、景気回復のペースは鈍い状況が継続しました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、世界的な半導体部品の供給不足の影響はありましたが、前年の新型コロナウイルスの影響による落ち込みに対する反動から、日本国内の自動車生産台数は前年同期比では増加となりました。アセアンの自動車生産台数についても、タイ、インドネシア、マレーシアの3ヶ国とも前年同期比で増加となりました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間においては、主力の日本国内、アセアン、中国の3つの地域において、好調な販売状況から売上高は増収を確保し、3つの地域における自動車生産台数のマーケット増加率を売上増収率が上回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間では、売上高は65,397百万円(前年同期比26.5%増)、営業利益は樹脂など、原材料費高騰の影響はあったものの、近年継続してきた構造改革にともなう固定費削減効果や設備投資による生産性の向上などから4,051百万円(前年同期は営業損失439百万円)、経常利益は持分法による投資利益726百万円の計上などもあり4,676百万円(前年同期は経常損失665百万円)となりました。また、特別損失として減損損失190百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,999百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失636百万円)となりました。

なお、中間配当につきましては、内部留保を活用した研究開発・設備投資による企業価値の向上、および株主の皆さまへの利益還元の上を図る観点から、1株当たり3円50銭とさせていただきます。また、2021年12月期通期の業績予想につきましては、売上高は1,320億円、営業利益は73億円、経常利益は84億円、親会社株主に帰属する当期純利益は59億円を見込んでおりますが、実際の業績は、今後の様々な要因により現時点での予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 Christophe Vilatte(ヴィラット クリストフ)

人とくるまのテクノロジー展2021 ON LINEに出展 車両の自動化・電動化時代の新たなライティングソリューションを提示



ICHIKOHは、2021年5月26日から7月30日まで、初めてのオンライン開催になる自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2021」に出展し、車両の自動化と電動化に関するライティングソリューションを提示しました。

今回は、OEM向け新技術として「e-Grille」、[HDライティング]、[ニアフィールドプロジェクション]、アフターマーケット向け商品として「3Dサラウンドマルチビュー」をメインに展示しました。

中でも「e-Grille」は、電気自動車（EV/HEV/PHEV）における新たなラジエーターグリルの提案です。自動車の電動化にともない、ラジエーターグリルはエンジン冷却のための吸気機能の役割は減少する一方で、ブランドのアイデンティティを表現する役割が増加し、またグリルとランプを融合するスタイリングの傾向があります。「e-Grille」は、特殊なフィルム素材を使用することにより、非点灯時のグラフィカルな見映えと、点灯時のライティング機能の魅力を併せ持つ提案です。



また、「ニアフィールドプロジェクション」は、主に歩行者や自転車、バイクといった車両周辺の道路利用者に向けた情報伝達を目的としたソリューションです。車両の進行方向や動きを路面に描写することにより、よりわかりやすく伝えることができます。

ICHIKOHはこれからも、より安全・安心な交通社会の実現に向けて研究開発を続けてまいります。



(要約) 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2021年6月30日現在	前連結会計年度末 2020年12月31日現在
資産の部		
流動資産	48,286	46,934
固定資産	63,639	62,700
有形固定資産	45,342	45,983
無形固定資産	1,028	1,080
投資その他の資産	17,268	15,636
資産合計	111,925	109,634
負債の部		
流動負債	49,637	48,779
固定負債	14,329	16,310
負債合計	63,966	65,090
純資産の部		
株主資本	50,744	48,138
その他の包括利益累計額	△3,348	△4,578
非支配株主持分	562	984
純資産合計	47,959	44,544
負債及び純資産合計	111,925	109,634

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2021年1月1日から 2021年6月30日まで	前第2四半期累計 2020年1月1日から 2020年6月30日まで
売上高	65,397	51,713
売上原価	51,360	42,319
売上総利益	14,036	9,394
販売費及び一般管理費	9,985	9,834
営業利益又は営業損失(△)	4,051	△439
営業外収益	833	221
営業外費用	208	447
経常利益又は経常損失(△)	4,676	△665
特別損失	456	4
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	4,219	△670
法人税等	1,182	△9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,036	△660
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	36	△23
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,999	△636

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2021年1月1日から 2021年6月30日まで	前第2四半期累計 2020年1月1日から 2020年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,617	1,589
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,238	△4,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△904	△819
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	△78
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	531	△3,393
現金及び現金同等物の期首残高	5,426	8,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,958	4,803

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2021年6月30日現在)

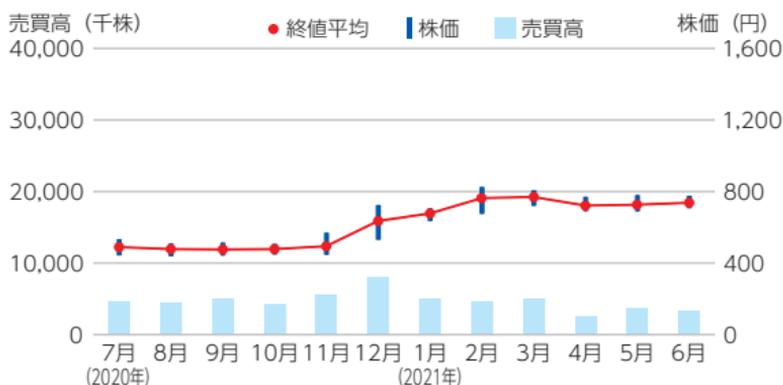
発行済株式の総数	96,292,401株
発行可能株式総数	200,000,000株
株 主 数	5,027名

大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
ヴァレオ・バイエン	58,791 千株	61.16 %
株式会社日本カストディ銀行	4,811	5.00
株式会社みずほ銀行	4,775	4.96
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,542	4.72
ダイハツ工業株式会社	2,712	2.82
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN STANDARD SICAV I CLIENT ASSETS	2,179	2.26
BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	1,274	1.32
日本生命保険相互会社	1,040	1.08
JP MORGAN CHASE BANK 385151	648	0.67
株式会社市川ビジネスセンター	486	0.50

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (176,253株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
 3. 株式会社日本カストディ銀行の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、4,811千株であります。

株価および株式売買高の推移



取締役および監査役 (2021年6月30日現在)

代表取締役会長	オードバディ アリ
代表取締役社長	ヴィラット クリストフ
代表取締役副社長	宮下和之
取締役	中野秀男
取締役	白土秀樹
取締役	アーバン アラン
取締役	マルテネッリ マウリッツオ
取締役	ガルニエ ロドルフ
社外取締役	青松英男
社外取締役	ラヴィンニュ ジャンジャック
常勤監査役	加藤伸曜
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スベストル ピエール

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金配当支払株主確定日	毎年12月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年6月30日
基準日	毎年12月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

会社概要 (2021年6月30日現在)

商号	市光工業株式会社
設立	1939 (昭和14) 年12月20日
資本金	8,986,364,953円
従業員数	連結 3,501名 (1,521名) 単体 1,805名 (950名)

(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は () 内に期間中の平均人員を外数で記載しています。

本店	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地 TEL 0463(96)1451 FAX 0463(96)2080
----	---

ホームページのご案内 会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。
<http://www.ichikoh.com/>

ICHIKOH

a Valeo company

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

